

ナレッジキャピタルのカフェラボでサイエンスカフェ。

細胞を並べて積み重ねる話の、第二話。

2014年1月27日(月)

18:30～20:00

うめきた・グランフロント大阪北館 1階

ナレッジキャピタル カフェラボ

参加費：500円（ワンドリンク、おつまみ付き）

※20歳未満の方には、アルコールは提供いたしません。

定員：約30名 事前の申込は不要です

ゲスト **松崎 典弥**
大阪大学 大学院工学研究科 助教

狩野 光伸
岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授

平川 聡史
浜松医科大学 皮膚科学講座 准教授



松崎 典弥 (まつさき みちや)

大阪大学 大学院工学研究科 助教

鹿児島大学大学院理工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。日本学術振興会特別研究員、スウェーデンルンド大学大学院免疫工学専攻客員研究員、大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻特任助手、同助手を経て2007年より現職。2008年JSTさきがけ研究者(兼任)。



狩野 光伸 (かの みつとす)

岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 教授

東京大学大学院医学系研究科修了。博士(医学)。聖路加国際病院、東大院医学系分子病理学、東大ナノバイオ・インテグレーション研究拠点、東大医学部 MD 研究者育成プログラム室担当教員を経て、2012年より現職。並行して日本学術会議若手アカデミー委員会副委員長なども務める。



平川 聡史 (ひらかわ さとし)

浜松医科大学 皮膚科学講座 准教授

岡山大学医学部研究科修了。博士(医学)。愛媛大学医学部附属病院、愛媛大学プロテオ医学研究センター細胞増殖・腫瘍制御部門(兼任)、浜松医科大学医学部附属病院 講師を経て、2011年より現職。



今回のサイエンスカフェは、「最先端・次世代研究開発支援プログラム」で採択された研究課題の、アウトリーチ活動として実施するものです。

最先端・次世代研究開発支援プログラムとは、将来、世界の科学・技術をリードすることが期待される潜在的可能性を持った研究者に対する研究支援制度です。国の「新成長戦略(基本方針)」(2009年12月30日閣議決定)において掲げられた先端的研究開発を支援することにより、中長期的な国の科学・技術の発展を図り、国の持続的な成長と政策的・社会的課題の解決に貢献することが目的です。

採 択 者 : 松崎 典弥
研究課題 : 1細胞レベルで3次元構造を制御した革新的ヒト正常・疾患組織モデルの創製

プリンターで組織を

“印刷” する ?

大阪大学の松崎典弥さんは化学の研究者で、細胞を平面でなく立体的に培養する独自の手法によって、ヒトの組織モデルを作る研究に取り組んでいます。細胞を一個単位でコントロールして思い通りに、しかも立体的に並べることで、組織モデルを作るのです。

細胞を並べる手法はいくつかあり、とりわけインクジェットプリンターに似た装置を使う方法では、まるで紙に図が描き上がるようにして組織モデルが出来上がるのだそうです。人工的という言い方の示す事柄が、端的に現れています。

健康な状態の組織はもちろん、病に冒されている状態の組織モデルさえも産み出せるような技術が確立すれば、医薬品試験のひとつとして、いつかは動物実験を置き換えるような応用も視野に入ってくるのでしょうか。病気の研究そのものを推し進める力にもなるはず。この研究の成果は、共同研究を行う医学研究者の狩野光伸さんと平川聡史さんにとっても重要であることはもちろん、将来はさらに大きな影響力を持つ可能性もあるのです。

今回は、学問分野の壁をこえて共同研究を行う3人にお集まりいただき、医学と工学の研究者が協力して何をを目指すのか、そのとおきのお話をうかがいます。

会場住所 : 〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1
うめきた・グランフロント大阪 北館1階
ナレッジキャピタル カフェラボ

主 催 : 大阪大学大型教育研究プロジェクト支援室
共 催 : 一般社団法人ナレッジキャピタル
協 力 : 大阪大学 21世紀懐徳堂



お問い合わせ : 大阪大学大型
教育研究プロジェクト支援室
TEL.06-6879-4817 /
info-ura@lserp.osaka-u.ac.jp